



MOA 美術館

エムオーエーびじゅつかん さかど・つるがしま じどうさくひんてん

坂戸・鶴ヶ島 児童作品展

2022.
10/
29 土
30 日

開館時間 午前9時30分～午後4時30分

観覧料 無料

会場 城西大学水田美術館 2階 ギャラリー1、2

主催 MOA 美術館（公益財団法人岡田茂吉美術文化財団）、
MOA 美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展実行委員会

協力 城西大学現代政策学部ボランティア団体「アーツ・イン・エデュケーション」

後援 文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省、埼玉県、埼玉県教育委員会、
埼玉県議会、坂戸市、鶴ヶ島市、坂戸市教育委員会、鶴ヶ島市教育委員会、全国連
合小学校長会、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本PTA全国協議会、
公益財団法人海外日系人協会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、産経新聞社さいたま総局、
埼玉新聞社、テレビ埼玉、城西大学水田美術館（順不同）

※今年度は水田美術館が構内工事の関係で
休館中のため、学園祭開催時に特別開館し、
2日間のみ開催となります。

お問い合わせ

MOA 美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展
実行委員会 事務局 090-6450-9346（榎木）



左上：第19回 MOA 美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展 坂戸市長賞「ザリガニとお魚」
左下：第19回 MOA 美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展 埼玉県議会議長賞「夜の花畑にかがやく不思議な世界」
中央：第32回 MOA 美術館 全国児童作品展 銅賞「ひみつの心山」
右上：第19回 MOA 美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展 JU ボランティア賞「上ばきロケットでうちゅうへ」
左下：第19回 MOA 美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展 鶴ヶ島市長賞「かっこいいな！ノコギリワガタ」

チラシデザイン原案：川合 美波・須藤 千夏（城西大学現代政策学部 2年）



城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY



MOA 美術館

坂戸・鶴ヶ島 児童作品展

MOA美術館児童作品展とは

MOA美術館児童作品展は、「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画によって表現することで情操を養い、「思いやりの心」や「豊かな心」を育てることを目的に行われる作品展で、昨年はコロナ禍の中で海外7か国を含む238会場で開催しました。



1. MOA美術館 外観 (熱海市)



2. MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展 第19回の様子



3. アーツ・イン・エデュケーションによる第19回展示作業風景



「アーツ・イン・エデュケーション」
学生代表
北條 純也
(現代政策学部 3年)

坂戸・鶴ヶ島児童作品展も20回となりました。昨年、水田美術館で作品展を開催した際、小さいお子さんに「美術館で走ってはだめよ!」という優しいお母さんの声が入ってきました。美術館という「場」が与えられる優しい教育の力を感じました。

坂戸・鶴ヶ島児童作品展の特徴だと思うのですが、小学生の視覚世界を表現した作品の多くは色使いも華やかで明るい色彩が多いと感じます。大人になるとできない大胆な色彩や予想もできない視点からの絵には毎回驚かされます。美術館に展示されるという非日常の世界が、気がつかなかった感覚や気持ちに出会う機会となるかもしれません。この作品展を通して、新しい自分に小学生の皆さんが出会ってくれることを心から願っています。

最後になりましたが、この作品展の開催にあたり、ご支援ご協力賜りました関係者の皆様、MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展実行委員会の皆様、現代政策学部学生ボランティアの皆さんに厚く御礼申し上げます。そして何よりも本作品展開催実現の機会を与えてくれました水田美術館に心から感謝を捧げたいと思います。

MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展は、去年と同様に城西大学の水田美術館で開催します。今年度で20周年という節目を迎える本展に、感性豊かな子供達の作品の数々、MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展実行委員会の皆さまや市・教育委員会の皆様など、多くの方の協力により我々ボランティア団体が参加することができました。

新型コロナウイルスの影響で休校や各イベントの中止により、子供たちの表現の場が失いつつある現状を「変えていきたい」という思いがあります。描いた作品が大勢の方に触れることで、今度の作品では「色使いをかえてみよう」「質感を意識して実物に近づけよう」など、インスピレーションが湧いてきます。描いて終わりではなく、こだわった所はどこなのか、他の人の作品との違いは何か、考える事が大切です。

私達はそのような居場所をつくる為のサポートをしていきたいです。作品展をより多くの方に観て頂けるように、オンラインでの閲覧や作品が見やすい飾り方を工夫していきますので、是非ともお越しください。



城西大学
現代政策学部
准教授 **柳澤智美**

城西大学水田美術館は、全国でも数少ない芸術系の学部を擁さない私立大学付属美術館ですが、日本文化発展への寄与を目的に、浮世絵コレクション公開に加え、地域連携・地域貢献、そして、学生教育支援活動に力を注いで参りました。

「MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展」においては、昨年度より当館を会場に開催する事ができ大変嬉しく思うとともに、未来を担う地域の子どもの創作活動に微力ながら携わる機会を賜り誠に光栄に感じております。本展が、多くの方々の目に留まり、そして心に届きますようお願いいたします。

城西大学・城西短期大学学長/城西大学水田美術館館長 **藤野 陽三**

出品された作品は
**特設サイトで
ご覧になれます**



※水田美術館ホームページより「坂戸・鶴ヶ島児童作品展専用ページ」へアクセスしてご覧ください。

公開期間

**2022年10月29日(土) ~
2023年全国展開催期間まで**

※来館予約は必要ありませんが、館内の混雑状況により入館をお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。美術館周辺が工事のため、ご入館は1階からとなります。また、入館時に入館カードのご記入をお願いいたします。(ホームページよりダウンロードいただき、事前にご記入いただきますと入館がスムーズです。)
※今後の状況によっては、開催内容の変更、延期または中止となる場合があります。詳細は当館ホームページ、Twitterでお知らせいたします。

交通のご案内

【電車の場合】

東武東上線坂戸駅乗り換えで東武越生線川角駅下車、踏切を渡り徒歩10分

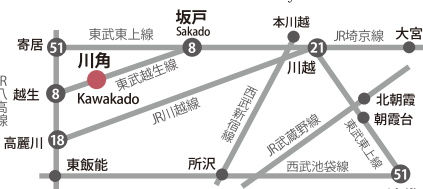
【お車の場合】

1. 関越自動車道「鶴ヶ島 I.C.」を出て、鶴ヶ島方面に進み国道 407号線を直進
2. 「脚折町四丁目」交差点で右折し、右に「狩野動物病院」の看板がある交差点で右折
3. 「一本松」交差点を毛呂山方面に直進
4. 「万年橋」を渡り、「明海大学病院」の看板がある交差点を左折し直進、踏切を渡り登り坂を進むと突き当りに城西大学正門入口

※鶴ヶ島 I.C. より約 20 分



By train: From Sakado station of the Tobu-Tojo Line, take the Tobu-Ogose Line and get off at Kawakado station. It is a ten minute walk to the university.



数字は川角駅までの最短所要時間です。
The number indicates the shortest time required to reach Kawakado station.

